

第4節 1日目：11月12日（金）：西宮名塩～川西池田 晴れ

2021年11月12日（金）晴れ、福知山線の旅の第一日目は、新大阪駅まで新幹線で移動し、そこから在来線で西宮名塩まで向かう。そして、福知山線の西宮名塩駅から川西池田駅までの営業キロ10.9kmに挑戦する。



※新横浜駅、往路の乗車券・特急券

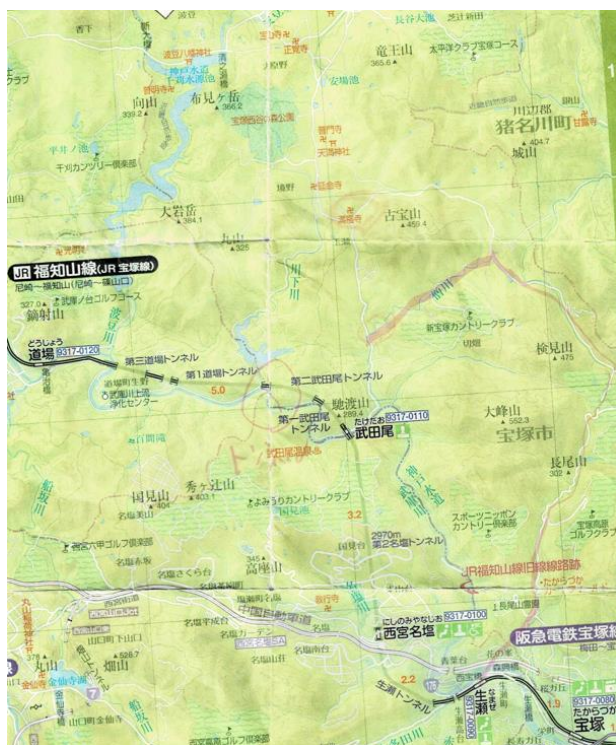


※尼崎駅、西宮名塩駅

福知山線は2019年7月、福知山線の福知山駅から柏原駅まで歩いた際、帰路で乗車した。また、2020年1月、家内と天橋立・城崎温泉に旅行した際にも乗車し、沿線の状況を下見する機会を得た。その時以来、歩くには難しい路線であるとインプットされた。

これらの下見を受けて、柏原駅から尼崎駅までの営業キロ80.0kmを効率的に歩くためには、如何に区間を区切り、如何に歩くかの旅行プランの策定に、安全面の要素も組み入れ推敲に推敲を重ねて検討した。その結果、修正前の歩きプラン（道場駅～武田尾駅で一日、武田尾駅～西宮名塩駅で一日）が誕生した。しかし、篠山口観光案内所や友人などの情報から、道場駅～武田尾駅～西宮名

塩駅の区間が、廃線跡を活用することにより、一日で歩けそうだと判明。嬉しい朗報であった。これらの情報から急遽、11月15日（月）の歩きを道場駅～西宮名塩駅を一日で歩く計画に変更する。そして、16日以降のプランを変更し、ラッキーにも神戸電鉄の三田駅から有馬温泉駅までの14.5kmに足を伸ばすことができる上方修正プランとなった。



※道場～武田尾～西宮名塩（難所区間）

西宮名塩駅から川西池田までの駅舎立ち寄り時刻は次の通り。

西宮名塩（10:54）～生瀬（11:43）～宝塚（12:18）～中山寺（13:21）～川西池田（14:31）

①西宮名塩駅は昭和の終わりに開設されたとのことで、山を切り開いたところに駅舎があった。この駅舎に到着次第駅員さんに、道場駅から武田尾駅までの間で地図上寸断された区間（500m位）があり、この区間がトンネル経由で繋がっているかどうかを確認する。航空写真などからも調べてもらい、「この途切れた区間は歩けません」と教えて頂く。それ故、当初の通り10km位山道を迂回する必要があると判明し、大変な行程であると改めて認識する。



※西宮名塩駅

駅舎近辺を色々な角度で撮影後、中国自動車道下を潜りながら生瀬駅を目指す。11時1分、塩瀬中学校バス停（阪急バス）を通過。11時4分、尼子谷橋を渡ろうとする際、大事な地図が見当たらない。ロストの恐れもあり、橋の限界で5分位右往左往する。冷静に判断した結果、西宮名塩駅で駅員さんに尋ねた際、別の場所に無意識に格納していることが判明し胸を撫でおろす。11時9分、万歩計で163歩ある尼子谷橋を渡る。11時15分、11時22分と蛇行した中国自動車道を潜りながら川に沿って歩く。11時40分、生瀬通りがあり、その先に生瀬駅（11時43分）があった。



※尼子谷橋、尼子谷橋からの眺め



※生瀬通り



※生瀬駅、新生瀬大橋、宝塚駅への路

②11時47分、上着を脱ぐ。11時56分、生瀬通りから幹線道路に再度合流する。11時59分、新生瀬大橋を渡る。12時2分、生瀬橋東詰を通過。武田尾駅への道筋が道路標識にあった。段々と町らしくなる。高台に沿って住宅街が広がっていた。阪急宝塚駅と道路を挟んでJR宝塚駅（12時18分）があった。初めて土を踏んだ宝塚駅構内にも立ち寄る。宝塚駅から川西池田駅にかけて、阪急宝塚線が福知山線と並走する。誤って阪急宝塚線に行かないよう用心して歩く。



※宝塚駅界限、宝塚駅



※宝塚駅、勅使川橋

③12時28分、阪急宝塚線が福知山線の上を横切る。阪急線に行かないように用心して、JR線の右側を歩く。12時35分、福知山線を走る特急”このとり”と対面する。12時39分、川西踏切を横切り、JR線の左側となり淡々と歩く。13時15分、丸亀製麺があった。中山寺駅歩いても歩いて到達せず。やっと馬上太子像がある中山寺駅には13時21分到着する。



※丸亀製麺、中山寺駅



※馬上太子像

④13時31分、八幡神社前で本日の安全を祈願する。13時45分、故郷香川に多いため池前を通過。少し肌寒くなり上着を着る。阪急線の平井車庫からの路線下を潜る。14時11分、雲雀丘学園中学校・高等学校前を通過。道路を挟んで東洋食品工業短期大学があった。国道176号線をひたすら歩く。14時31分、本日の終着駅である川西池田駅に到着する。



※川西池田駅への路



※川西池田駅、篠山口駅

⑤川西池田 14 時 41 分発の区間快速（8 両編成）で篠山口に移動する。篠山口駅には 15 時 34 分に到着。次の福知山方面の各駅停車は 16 時 29 分。たまたま、16 時 3 分発の特急” こうのとり” で柏原駅に向かう。懐かしい柏原駅には 16 時 26 分到着。今回の旅で発見した。尼崎から篠山口までは複線であるが、篠山口から福知山までは単線であることを。駅から 10 分位歩き、本日から 3 泊するグリーンホテル松風を目指す。ホテル到着後、汗を流し、ホテルから紹介された” 実のや” で本日の疲れをいやす。この店でラッキーにもマスターなどと” 鉄道つたい歩き” に関し、話す機会を得る。至福のひと時であった。



※篠山口駅から” こうのとり” で柏原駅へ



※下町の居酒屋” 実のや” で祝杯

第5節 2日目：11月13日（土）：道場～篠山口 晴れ

2021年11月13日（土）晴れ、福知山線の二日目は、道場駅から篠山口駅までの営業キロ28.3km（今回最大）に挑戦する。当初は篠山口駅から2つ手前の古市駅までの区間（23.4km）を計画していたが、先憂後楽などの考え方から前倒しするプランに修正した。この時期、16時を過ぎると暗くなりかける。その結果、柏原発6時42分から5時30分に変更する。なお、5時19分発に間に合うよう柏原駅に移動したが、本日は土曜・休日ダイヤのため、運休で11分ロスタイムが生じた。これまでのウォーキング中で、現地での平日と土日祝日ダイヤによる影響を受けたのは初めての体験となった。

福知山線 篠山口・三田・宝塚 方面 標準時刻 Fukuchiyama Line for Sasayamaguchi, Sanda, Takarazuka Timetable			
平日 Weekdays		土・休日 Saturdays and Holidays	
12	45	5	30
0	11 25 42	6	0 11 25 42
14	30 56	7	14 20 35 51
	35	8	2 35 50
2	36	9	2 36
	41	10	41
7	38	11	7 38
38		12	38
6	38	13	6 38
	38	14	38
	30	15	30

柏原駅ダイヤ



※三田駅、道場駅

本日の各駅舎到着時刻は、次の通り。

道場（6:46）～三田（8:04）～新三田（9:12）～広野（10:03）～相野（11:16）
～藍本（12:35）～草野（13:32）～古市（14:32）～南矢代（15:20）～篠山口
（16:00）

①篠山口駅と三田駅で乗り換えて道場駅まで移動する。車窓からは夜明け前で沿線の風景は全く見えず。三田駅に到着する頃に夜が明けて来る。道場駅には6時36分到着。駅周辺の風景をデジカメに収めて、三田駅を目指す。駅を出るや否や生野側道橋（有馬川）があり、この橋を渡るか否か迷う。運よく通行人の方と対面し、三田駅への道筋を聞く機会を得る。「この橋を渡らなければ行けません。この橋を渡って、川に沿って歩いて下さい。その先にまた橋があります。その橋を渡って線路伝いを歩けば行けます」と教えて頂く。私の帽子やマスクなどが引き金となり、数分立ち止り、”こだわり鉄道つたい歩き”に関する機会を得る。至福の数分間であった。



※道場駅、生野側道橋



※武庫川に沿って歩く、遠くに特急”こうのとり”、有馬川



※武庫川、遠くに三田の街並み、跨線橋からの三田駅

6時58分、生野側道橋を渡る。7時12分、教えて頂いた橋（有馬川：138歩）を渡る。有馬川と分岐した武庫川の土手を暫く歩く。7時32分、99歩ある武庫川を渡り、鉄道に近づく。前方に、三田市の街並みが広がる。神戸電鉄の車両が、前方300m位先を武庫川の橋を通過し行く。三田駅が近いと思うが、中々、店舗が立ち並び三田駅に繋がる道筋が見えず。この地点から300m位先にあるJR線を跨ぐ跨線橋まで向かう。この橋から300m位先に三田駅があった。この橋を渡って、鉄道の右側から向かうコースは遠回りと判断し引き返す。右往左往した地点まで引き返す。運よく小道が見つかり、鉄道の左側から三田駅に向かう。7時13分、神戸電鉄の線路下を潜った先に、幹線道路があり、その道路を歩いた先に、神戸電鉄の駅もある三田駅（8時4分）があった。この駅でトイレ休憩も含め、10分位留まる。



※三田駅近し、三田駅



※三田駅



※神戸電鉄三田駅、三田駅前

②駅前のふれあい通りを歩く。8時21分、三田市役所前を通過。桜並木がある土手沿いを歩き、8時37分、46歩ある武庫川を渡る。8時43分、JR線下を潜り、鉄道の右側となる。8時46分、川除（かわよげ）交差点から国道176号線を淡々と歩く。9時10分、JR線下を潜り、鉄道の左側となる。その先に新三田駅（9時12分）があった。



※三田市役所、武庫川の土手、国道176号線（三田市大原）



※新三田駅

③鉄道の左側に沿った田圃道を歩く。9時16分、福島橋を渡る。9時23分、福知山線の車両基地前を通過。ウォーキングをしている夫婦ずれが私を追い越して行く。9時41分、JR線下を潜る。9時43分、川沿いを歩く。鉄道から大きく離れ、迷路に入るが、地元の人をサポートにより運よく脱出できる。9時46分、51歩ある平成橋（青野川）を渡る。9時56分、107歩あるしおかげ橋（武庫川）を渡る。10時、第一広野踏切を横切り、左側に出た先に広野駅（10時3分）があった。



※広野駅への路



※広野駅

④10時9分、第二広野踏切を横切り、鉄道の右側となる。鉄道に沿った151mある相野川橋を渡り、相野川沿いを歩く。10時18分、大畑踏切を横切り、鉄道の左側を歩く。10時31分、31歩ある男谷橋を渡る。10時33分、幹線道路（県道141号線）に合流する。10時55分、三田市下相野を通過。10時2分、大歳神社前で本日の安全を祈願する。相野駅には11時16分到着。



※第二広野踏切、相野駅



※相野駅、藍本駅への路

⑤相野駅から藍本駅までの道筋は、前方山が立ち塞がり本日中で最も難関な道筋であった。地図と前方の地形を手探りに用心深く歩く。運よく地元の人に出会い、藍本駅への道筋を確認する。「この道を真っ直ぐ歩くと小学校にぶつかります。その先の踏切を横切り、鉄道に沿って歩くと行けます」と教えて頂く。御礼を言ってこの場を後にする。教えてもらった道筋を歩く。11時41分、朝寒さのために着たTシャツを脱ぐ。11時58分、三田市立藍小学校・幼稚園前に到達。その先にある第一丸岡踏切（12時）を横切り、鉄道の右側となる。12時8分、故郷香川に多いため池があった。12時11分、第二丸岡踏切を横切り、鉄道の左側となる。12時30分、酒滴（さかだれ）神社前を通過。山が背後にある藍本駅には12時35分到着。



※藍本駅への路、酒滴神社



※藍本駅、獅子舞

⑥関踏切を横切り、鉄道の右側となる。12時45分、幹線道路に合流する。藍本駅前（神姫グリーンバス停）があった。12時55分、その先でJR線はトンネルに入る。山を迂回して道路は続く。13時10分、三田市から丹波篠山市に入る。13時12分、細田橋（武庫川）を渡る。橋桁が40m位ある舞鶴若狭自動車道下を潜る。13時24分、豊作を祝う獅子舞行列に対面する。13時26分、77歩ある草野大橋（武庫川）を渡る。13時32分、草野駅に到達。駅前の歩道には射手座やしし座などの星座の画像が描かれていた。また、「伊能忠敬笹山領測量の道」の標識があった。



※草野駅



※射手座の画像、伊能忠敬笹山領測量の道

⑦13時56分、新橋を渡り、鉄道沿線を淡々と歩く。古市の交差点の看板を見て、鉄道に近づく。路地を歩いた先に、14時29分、かつてよく見かけた「フコク生命たばこ」看板があった。懐かしくなり、フコク生命入社当時が昨日のように思い出された。古市駅には14時32分到着。丁度、上り下りの電車がやってくる。



※古市駅への路、この交差点で幹線道路から古市駅に向かう、フコク生命のたばこ看板



※古市駅

⑧14時46分、波賀野踏切を横切り、鉄道の左側となる。国道176号線に合流する。14時52分、豊岡91km、福知山52kmと記した道路標識前を通過。15時8分、高仙寺（松尾寺）前を通過。15時16分、南矢代踏切を横切り、鉄道の右側となる。15時20分、南矢代駅に到着。



※高仙寺、南矢代駅への路



※南矢代駅

⑨15時52分、大沢踏切を横切り鉄道の右側となる。篠山口駅（東口）には、16時到着する。この駅にいた年配の方に、二つ質問をする。一つは「篠山とはどの山ですか」と。これに対し、「篠山はありません」と。二つ目は「道場から西宮名塩までの道筋はありますか」と。これに対し、「武田尾から道場まで廃線跡を歩ける」と想定外の答えが出て来てビックリする。確認のため西口にある観光案内所に出向く。その結果、「武田尾から西宮名塩までは廃線跡を歩け

ますが、道場から武田尾の区間はないと思います。私もかつて廃線跡を歩いたことがあります。詳細は宝塚観光案内所に確認して下さい」と。これで、道場から西宮名塩までの歩く道筋がやっと確定する。有意義な観光案内所訪問であった。



※篠山口駅への路、大沢踏切



※篠山口駅



※篠山口駅

⑩16時29分発の福知山行きで柏原駅に向かう。ホテルには17時12分到着。汗を流した後、昨日に引き続き、下町の居酒屋”実のや”に参上し、本日の疲れを癒す。常連の方に、色々世間話をする機会が得られ、至福のひと時であった。



※下町の居酒屋”実のや”で祝杯

第6節 3日目：11月14日（日）：篠山口～柏原 晴れ

2021年11月14日（日）晴れ、福知山線の旅の第三日目は、篠山口駅から柏原駅までの営業キロ21.6kmに挑戦する。丹波大山駅から2km位歩いた先で地球直径相当キロである1万2千739kmに到達する。また、下滝駅が突破駅となる。ウォーキングを開始した2000年5月3日（水）から起算し、約11年半の歳月を経た621回目の活動で達成したことになる。それ故、本日は地球直径相当キロ突破の記念日となるので、ゆったりした気持ち臨んだが、一方ではウキウキドキドキした気持ちで一杯となった。



※グリーンホテル松風



※下町の居酒屋”実のや”、柏原駅



※柏原駅、篠山口駅からの眺め（丹波大山方面）、篠山口駅（西口）

昨日、前倒した関係で、ゆっくりホテルで朝食を済ませ、ゆっくり目の柏原 8 時 35 分発のダイヤで篠山口駅まで移動することができる。

各駅舎到着時刻は次の通り。

篠山口（ささやま：9:12）～丹波大山（9:55）～下滝（12:58）～谷川（14:13）～柏原（16:26）

①篠山口駅前の撮影後、丹波篠山市内を經由して丹波大山駅を目指す。こぢんまりした街並みが続いていた。9時22分、JA丹波ささやま前を通過。9時30分、河原の草掃除をしている町内会グループがあった。このグループに丹波大山駅の道筋をお伺いする。「この坂を上り下がったところに駅があります」と教えて頂く。9時35分、住吉台口バス停（神姫グリーンバス）があった。山を下って線路に近づいた先に丹波篠山駅（9時55分）があった。この駅で、暑くなり、上着の下のシャツを1枚脱ぐ。



※篠山口駅からの風景



※丹波大山駅への路、河原で草刈り、丹波大山駅への路



※丹波大山駅



※丹波大山駅、篠山川、川代ダム沿い



※川代ダム、犬に挨拶、川代1号トンネル

②10時9分、鉄道下を潜り鉄道の右側を歩く。その先に163歩ある小滝橋（篠山川）があった。この橋を渡り終わると、102歩ある丹南橋（宮田川）が続いていた。川代ダムがある桜並木を歩く。10時27分、川代ダムに到着。10時36分、伊出屋橋（大山川）を渡る。その先で、犬から歓迎を受ける。10時43分、川代恐竜街道を歩く。11時3分、県道77号線（篠山市大山下）を通過。11時5分、893mある川代1号トンネル前に到着。このトンネルは歩行者が侵入できないの

で、紅葉が見頃な川に沿った路筋を歩く。11時7分、紅葉が舞う神秘的な場面に出くわす。この辺りで地球直径相当キロに到達しなのではないかと推察。恰も、お祝いをしれてくれているような心境となった。



※紅葉舞う（神秘的な場面に遭遇）**地球直径相当キロ到達地点？**



※これから下滝駅まで 5.1 km 地点、福知山線第 1 篠山橋梁

11時10分、2人連れの自転車野郎と対面する。11時13分、川代橋界隈で清掃センターがあった。その先で、丹波大山駅から4.2 km、下滝まで5.1 km地点に到達。11時27分、大阪方面に特急”このとり”が通過して行く。その先で紅葉が綺麗な地点に到達。感動の余りスマホで撮影し、何人かのメンバーにSNSで送信する。11時31分、左手に福知山線第1篠山橋梁があった。その先で県道77号線に合流する。11時47分、丹波篠山市から丹波市となる。



※県道 77 号線に合流、川代公園



※吊り橋

12 時 15 分、川代公園に到着。90m ある吊り橋を渡る。日曜日ということで沢山の観光客の姿があった。12 時 31 分、恐竜丹波竜化石発見地前に到達。この化石の前で若者のバイク野郎に写真を撮って頂く。帽子を見て、驚く！！「オジサン全国を歩いているのですか。凄い」と声をかけてもらう。「この地点が地球直径相当突破の記念として写真を撮ってもらいました。ありがとうございました」と言って、チラシを渡し別れる。いい記念写真となった。



※恐竜丹波竜化石発見地前、寿と記した家屋

ここから淡々と歩いて、”丹波竜の里”下滝駅には12時58分到着。この駅は記念すべき駅の一つになろう。



※下滝駅（地球直径相当達成駅）



※下滝駅

③13時18分、県道77号線の直ぐ左側に単線の福知山線があった。13時23分、篠場橋（篠場川）を渡る。丁度、大阪方面に向けて”こうのとり”が通過して行く。13時53分、今回の旅で初めて風を冷たく感じる。13時54分、6人組の年配の自転車グループに対面する。14時3分、遅まきながら岩上神社で本日の安全を祈願する。14時8分、池谷踏切を横切り鉄道の下側となる、14時13分、加古川線が合流する谷川駅に到着する。一両編成の電車が駅で待機していた。加古川線も合流するだけあり、駅前には賑やかであった。駅前には恐竜の像もあった。



※谷川駅への路



※谷川駅



※谷川駅ホーム、駅前の恐竜、加古川線の車両

④14時21分、第二玉巻踏切（加古川線）を横切る。そして、その先で谷川踏切（福知山線）を横切る。福知山線の右側を歩く。14時43分、JR線下を潜り、

鉄道の左側となる。14時45分、県道86号線（丹波市山南町玉巻）を通過。15時9分、ため池前を通過。15時11分、JR線トンネルに入る。15時14分、JR線を跨ぎ、鉄道の右側となる。15時18分より、505mある奥野々トンネルを通過する。15時34分、工場が辺りに登場する。そして、次第に道路と線路が接近すると同時に民家が増えて来る。15時55分、小倉新橋（柏原川）を渡る。16時1分、下小倉交差点で国道176号線と合流する。柏原の街並みが広がって来る。柏原駅には16時26分到着。



※谷川踏切、福知山線と加古川線、福知山線下潜る



※柏原駅への路、奥野々トンネル、柏原駅への路



※下小倉、柏原駅への路



※柏原駅

⑤ホテルで汗を流した後、本来ならば下町の居酒屋”実のや”で祝杯をあげたいところだが、本日は定休日のため、イタリアンレストラン”ヴォーノ・ピアチェーン”で祝杯をあげる。充実した一日であった。



※イタリアンレストランで祝杯！！